

平成 21 年 10 月 31 日

各位

株式会社 徳 ・ 株式会社 傳六
ノリックス株式会社 ・ 有限会社 和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

11 月 1 日より私どものグループの新店舗が奈良の橿原にオープンします。料理長の若原英司君とスタッフが現在、夜も寝ずに頑張っています。この店舗は里山料理というコンセプトで「地産地消」を前面に出した素材重視型のレストランで奈良産の大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏、地元の野菜や卵をふんだんに使い、ランチタイムは肉汁たっぷりのハンバーグを、ディナータイムはつくねをメインにした鍋料理と奈良産のお酒を味わっていただきます。窓からは大和三山の畝傍山や自然が見え、とてもいい景色と雰囲気の中でかつリーズナブルに地元のお客様にご利用いただけるようになっています。店舗に隣接した 300 人収容のレセプションホールや 150 名が食事できる和室もありパーティーや宴会の需要にも対応していきます。もちろん奈良県での仕出しの拠点としても活用いたします。皆様におかれましてはお近くに来られたらお立ち寄りください。

さて、消費不況が進む中で 800 円のジーンズや 280 円の弁当、1泊2食 7500 円の旅館など、今までの商品価格の価値観が覆されるようなものが大企業を中心に販売されていることは皆様もご存じだと思います。このような低価格の商品を作って販売し、利益を出すということはかなり大変な企業努力を伴います。私どもにはない一定規模の資本力も必要です。じゃあこのような低価格商品が氾濫する時代に私たちはどのような方向性を持たなければならないのでしょうか。私が考える唯一無二の答えは「新たな価値の創造」です。社是にも掲げ、いつも申し上げていることですが、今こそ他社にないアイデアと創意工夫で商品（サービスを含む）を展開し、売り上げではなく利益を追求していかなければなりません。まさに今は勝ち組負け組ではなく生きるか死ぬかの時代です。この時代に私どもの会社が生き残り、かつ成長し続けるためのキーワードは「人を喜ばせること」です。お客様に喜んでいただくというサービス業の基本的なことを考え抜いて徹底する。それを時間をかけて真摯に積み重ねる。人を喜ばせることは社会のためになります。お客様が私どもの仕事に感激して涙を流すイメージを持ってください。それを実現する方法は現場にまだまだあります。いつもそれを探して仕事をしてください。これからの企業の価値は規模や売上が大きいことがすべてではなく、社会でどのように貢献しているのか、世の中でなくてはならない存在なのかいうところがポイントだと思います。これからの季節、繁忙期に入ります。新型インフルエンザがまだまだ流行しています。自分の身体は自分で守りましょう。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々